



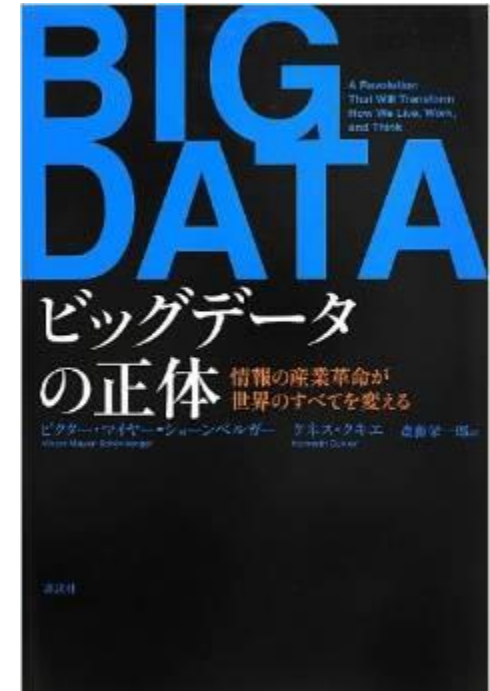
# 第一回輪講

名城大学 理工学部 情報工学科  
渡邊研究室

120425392 林佑亮

# 本の紹介

- タイトル:ビッグデータの正体 情報の産業革命が世界のすべてを変える
- 著者:ビクター・マイヤー＝シヨンベルガー  
ケネス・クキエ
- 訳者:斎藤栄一郎
- 発行者:鈴木哲
- 発行所:株式会社講談社



# 本日の内容

- ビッグデータとは
- ビッグデータがもたらす変化
- ビッグデータの課題
- データ洪水時代のルール

# 従来のデータ収集の方法

## ○ 標本の作製

- すべてのデータを用いる
- 集計は手作業

## ○ 標本の抽出

- 標本の規模より無作為抽出
- 母集団の選び方

# ビッグデータとは

- 明確な定義はない
- 小規模ではなしえないことを大規模で実行する
- 新たな知の抽出や価値の創出で市場、組織などを変化させる

# ビッグデータがもたらす変化

- ビッグデータはすべてのデータを扱う
- 大量のデータがあれば精度は重要ではない
- すべてのものがデータになる

# ビッグデータはすべてのデータを扱う

## ○ 標本抽出

- 最小限のデータから最大限の知見を見出す

## ○ ビッグデータの時代

- 膨大なデータを活用可能
- 「N=全部」の世界

# 大量のデータさえあれば精度は重要ではない

## ○データの大量化

- 乱雑さの許容
- 不良とされ排除されていたデータの使用



# すべてのものがデータになる

- 人間のすべての行為を有意義に
  - リキャプチャ
- 「ゴミ同然のもの」が「価値あるデータ」に
  - フェイスブックの広告



Free

B to BコミュニケーションにもFacebook

# データフィクション

- 世の中のあらゆるものをデータ化
  - 運転席の座り方
  - 自動車の走行情報(右左折・走行場所)
  - SNSへの書き込み

# ビッグデータの課題

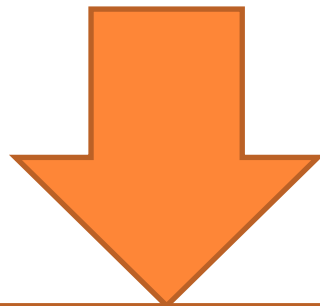
- データの支配
- 人間の行動予測

# データの支配

- 権力者の弾圧、抑圧の根拠に
- プライバシーの麻痺
  - 日常の私生活が筒抜けに
  - 告知と同意だけでは守ることができない

# 人間の行動予測

- ビッグデータによる人間の行動予測
  - 犯罪予測に利用した場合、未来の罪で罰せられる可能性
  - 個人の性格や傾向をもとに罰する



人間の選択の余地を奪う

# データ洪水時代のルール

- プライバシーの保護
  - 「個別の同意」から「データ利用者の責任」へ
- 傾向・習性
  - 透明性(アルゴリズムの公開)
  - 認定制度(健全性を認定する第三者機関)
  - 反証の余地を残す
- アルゴリズム監査

# まとめ

- ビッグデータを利用することでデータの扱いを変える
- データによって人間の行動を制限する危険性
- データ洪水時代のルールの確立